

資料 1

平成29年度 水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 給水人口は273,134人で、前年度に比べ 1,721人減少しました。
- ・ 有収水量（料金を賦課した水量）は 29,271,015^mとなりました。人口減少等に伴う長期的な水需要の減少傾向により、前年度に比べ43,151^m減少しました。
- ・ 有収率は87.1%で、前年度と同率でした。

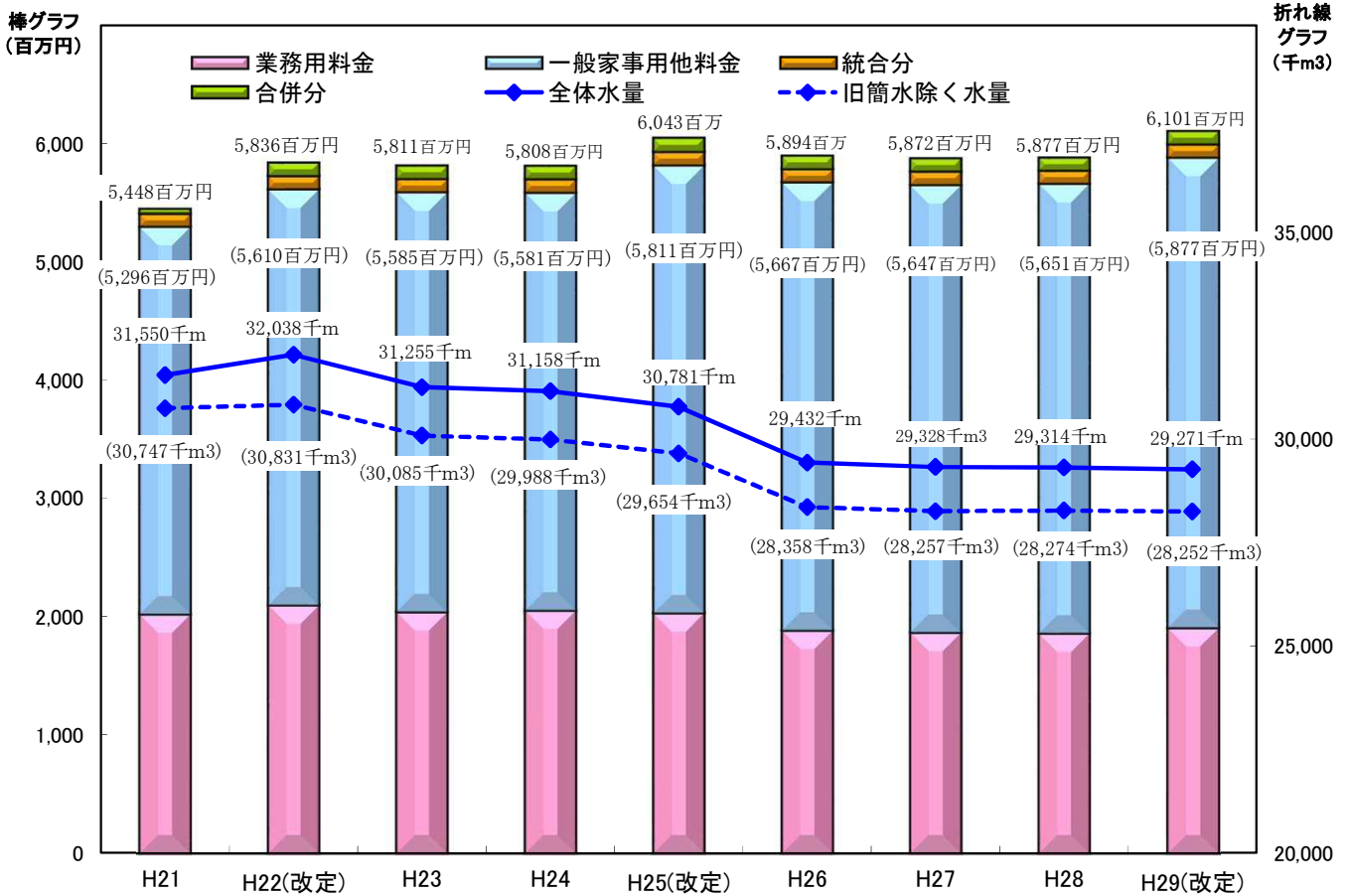
項 目	平成29年度	平成28年度	増 減	対前年比
給水人口（人）	273,134	274,855	△ 1,721	99.4%
給水量（ ^m ）	33,604,295	33,664,881	△ 60,586	99.8%
有収水量（ ^m ）	29,271,015	29,314,166	△ 43,151	99.9%
有収率（%）	87.1	87.1	0.0	—

水道料金の推移

平成29年度の使用水量は、長期的な水需要の減少傾向により、前年度に比べ約4万7,000m³の減少となった。

料金収入は、使用水量が減少したものの料金改定の影響で約61億100万円となり、前年度に比べ約2億2,400万円増加した。

年度別 水道料金・使用水量推移



水道料金推移 (税抜き)

単位：百万円

年度	水道事業						旧簡易水道事業			総合計		
	一般家事用他	対前年増減	業務用	対前年増減	合計(A)	対前年増減	水量(千m ³)	統合分(b1)戸無里岡	合併分(b2)信州新町中条	水量(千m ³)	料金(A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H21	3,274	3	2,022	△ 119	5,296	△ 116	30,747	108	44	803	5,448	36
H22(改定)	3,511	237	2,099	77	5,610	314	30,831	111	115	1,207	5,836	388
H23	3,546	35	2,039	△ 60	5,585	△ 25	30,085	112	114	1,170	5,811	△ 25
H24	3,528	△ 18	2,053	14	5,581	△ 4	29,988	114	113	1,170	5,808	△ 3
H25(改定)	3,779	251	2,032	△ 21	5,811	230	29,654	115	117	1,127	6,043	235
H26	3,784	5	1,883	△ 149	5,667	△ 144	28,358	114	113	1,074	5,894	△ 149
H27	3,780	△ 4	1,867	△ 16	5,647	△ 20	28,257	113	112	1,071	5,872	△ 22
H28	3,798	18	1,860	△ 7	5,658	11	28,274	108	111	1,040	5,877	5
H29(改定)	3,971	173	1,906	46	5,877	219	28,252	110	114	1,019	6,101	224

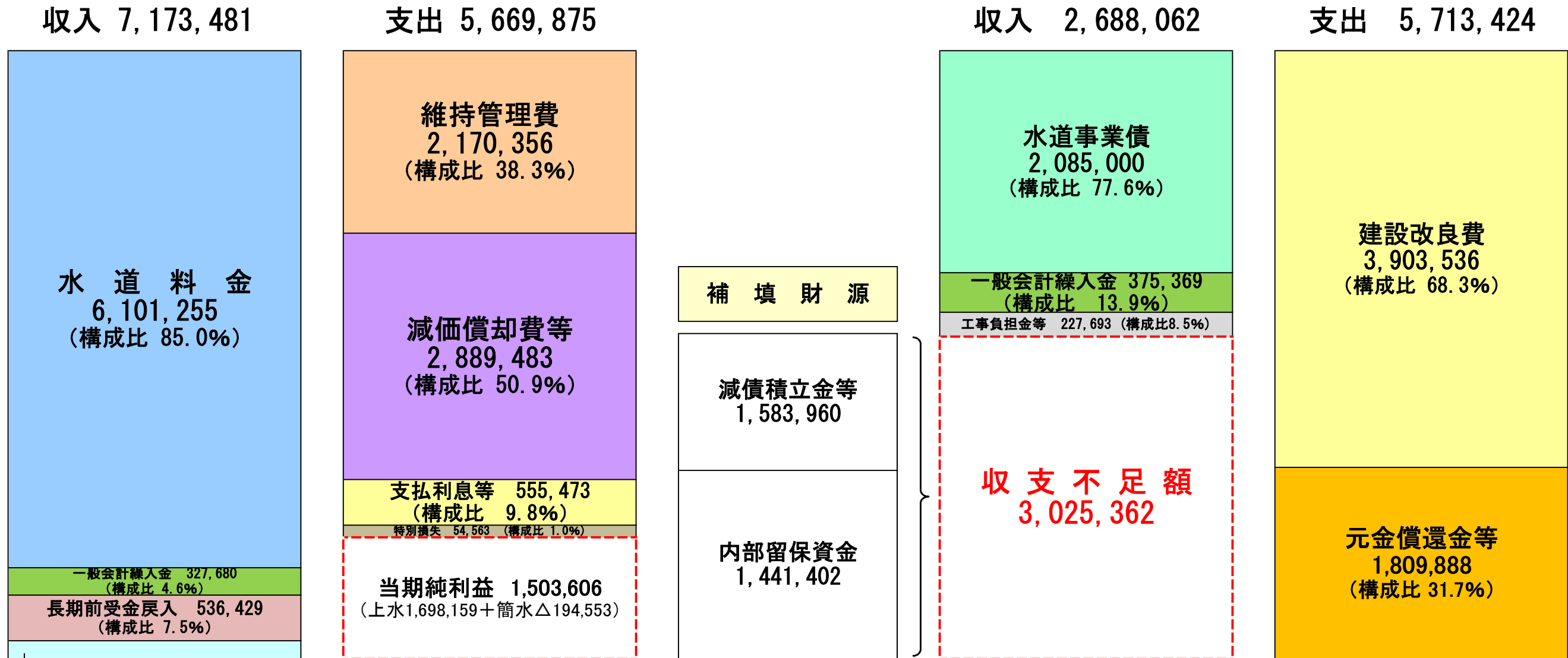
※ (改定) は、料金を改定した年度

平成29年度 水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

収益的収入及び支出 (税抜き)

資本的収入及び支出 (税込み)



補填後の内部留保資金残額 8,324,434
(損益勘定留保資金 7,139,434 + 建設改良積立金 1,185,000)

純利益等の処分 (案)
平成30年9月議会に提出予定

- ① 当期純利益
 - ・ 減債積立金 1,188,606
 - ・ 建設改良積立金 315,000
- ② その他未処分利益剰余金変動額
 - ・ 資本金への組入れ 1,314,235
 ※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの。

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	4,712,862
現年度分	2,426,572

建設改良積立金の内訳

～27年度	1,085,000
28年度	100,000

平成29年度 下水道事業の概要

主な業務状況

- ・ 汚水処理区域内人口（下水道に接続可能な人口）は 369,057人で、前年度に比べ2,087人減少し、水洗化人口（下水道に接続済みの人口）は 353,981人で、前年度に比べ 1,585人増加しました。
- ・ 人口普及率（下水道に接続可能な人の割合）は97.5%で、前年度と同率でした。
- ・ 流域下水道処理区の下水道整備の進捗に伴い、水洗化件数が増加したことなどから、有収汚水量（使用料を賦課した汚水量）は38,065,209m³となり、前年度に比べ192,901m³増加しました。

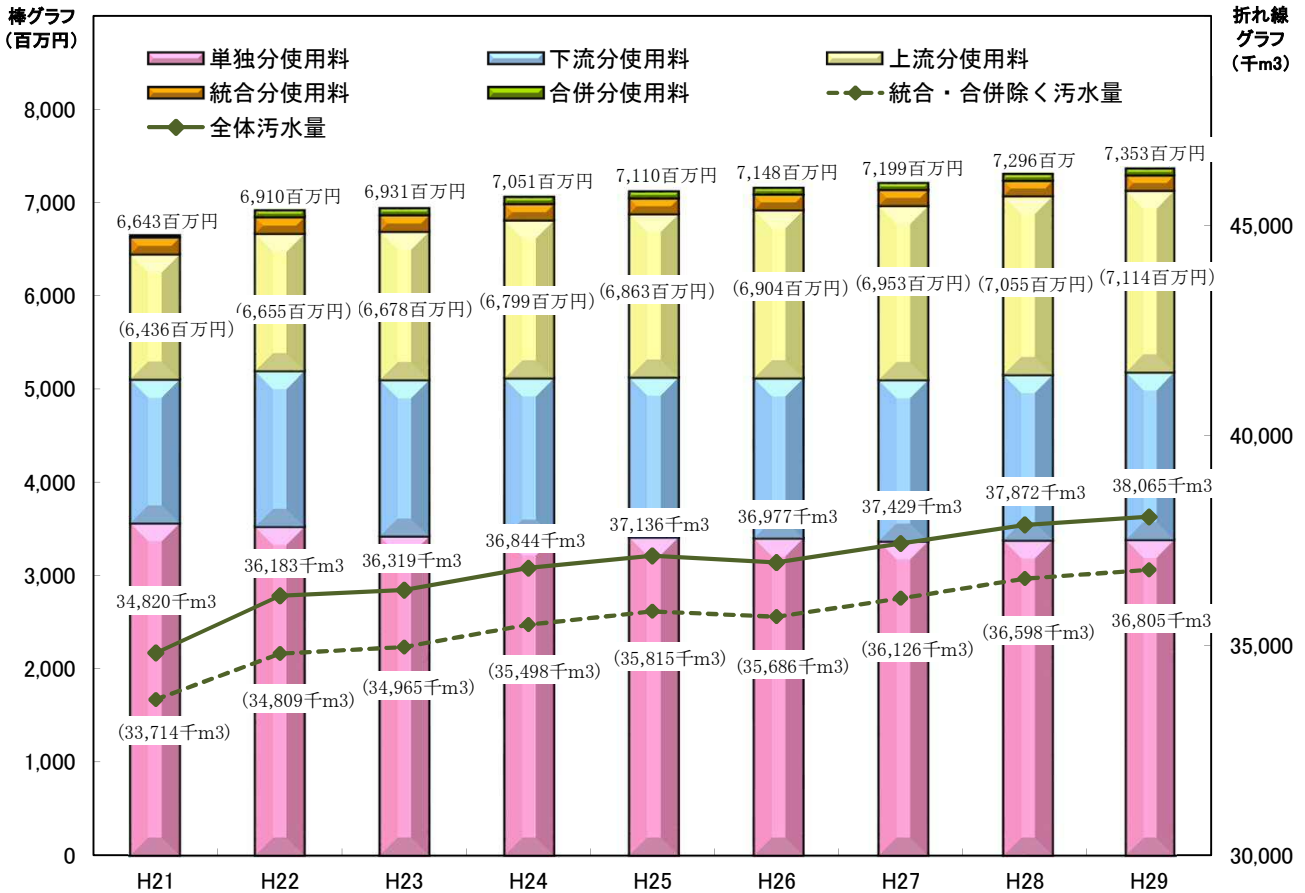
項 目	平成29年度	平成28年度	増 減	対前年比
汚水処理区域内人口（人）	369,057	371,144	△ 2,087	99.4%
水洗化人口（人）	353,981	352,396	1,585	100.4%
人口普及率（%）	97.5	97.5	0.0	—
有収汚水量（m ³ ）	38,065,209	37,872,308	192,901	100.5%

下水道使用料の推移

平成29年度の汚水量は、水需要の減少に伴う汚水の減少要因はあったが、松代・川中島・更北地区を中心とした流域下水道処理区での水洗化が進んでいることから、全体汚水量は約19万3,000m³の増加となった。

汚水量の増加に伴い、下水道使用料収入は約73億5,300万円となり、前年度に比べ約5,700万円増加した。

年度別 下水道使用料・汚水排除量推移



下水道使用料推移 (税抜き)

単位：百万円

年度	公共下水道			合計 (A)	対前年増減	汚水量 (千m³)	統合分 (b1) 農集排 小規模 戸無里	合併分 (b2) 信州新町 中条	汚水量 (千m³)	総合計	
	単独	流域下流	流域上流							使用料 (A)+(b1)+(b2)	対前年増減
H21	3,559	1,537	1,340	6,436	173	33,714	185	22	1,106	6,643	380
H22	3,519	1,667	1,469	6,655	219	34,809	181	74	1,374	6,910	267
H23	3,417	1,672	1,589	6,678	23	34,965	177	76	1,354	6,931	21
H24	3,408	1,703	1,688	6,799	121	35,498	175	77	1,346	7,051	120
H25	3,408	1,709	1,746	6,863	64	35,815	172	75	1,321	7,110	59
H26	3,397	1,711	1,796	6,904	41	35,686	171	73	1,291	7,148	38
H27	3,362	1,728	1,863	6,953	49	36,126	173	73	1,303	7,199	51
H28	3,375	1,770	1,911	7,055	102	36,598	167	74	1,274	7,296	97
H29	3,378	1,796	1,940	7,114	59	36,805	166	73	1,260	7,353	57

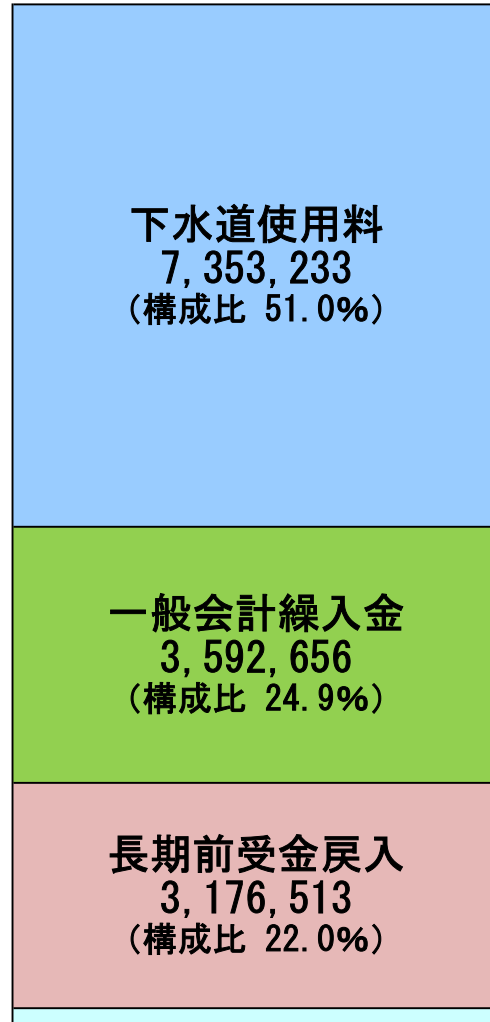
※ 特定環境長野分については、各処理区に加算

平成29年度 下水道事業会計決算の概要

(単位 千円)

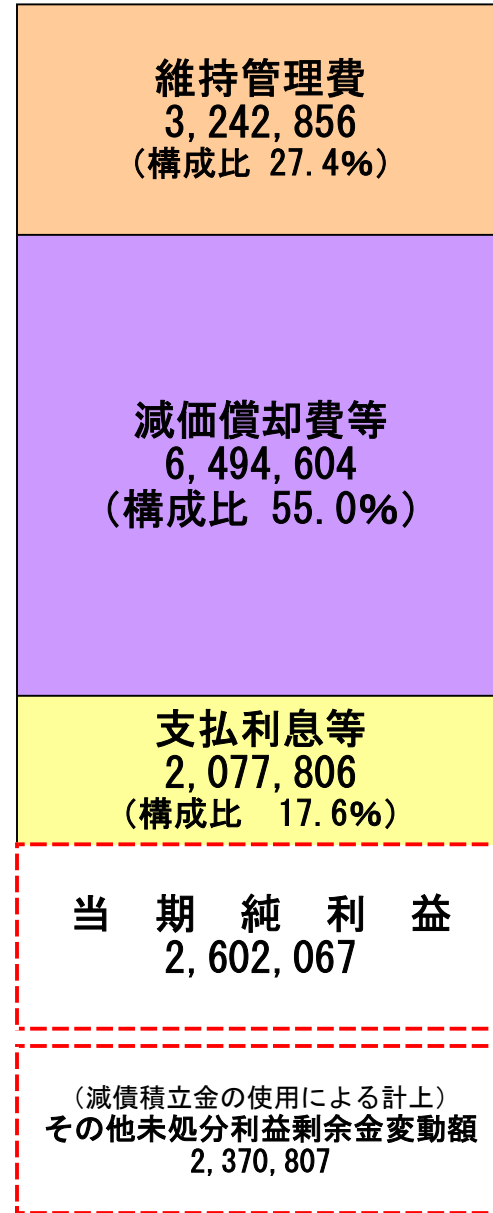
収益的収入及び支出 (税抜き)

収入 14,417,333



その他収益 294,931
(構成比 2.1%)
 ・ 県負担金返還 216,129
 ・ 消費税還付金 (特別利益) 48,469
 ・ 受取利息等 30,333

支出 11,815,266



(減債積立金の使用による計上)
 その他未処分利益剰余金変動額 2,370,807

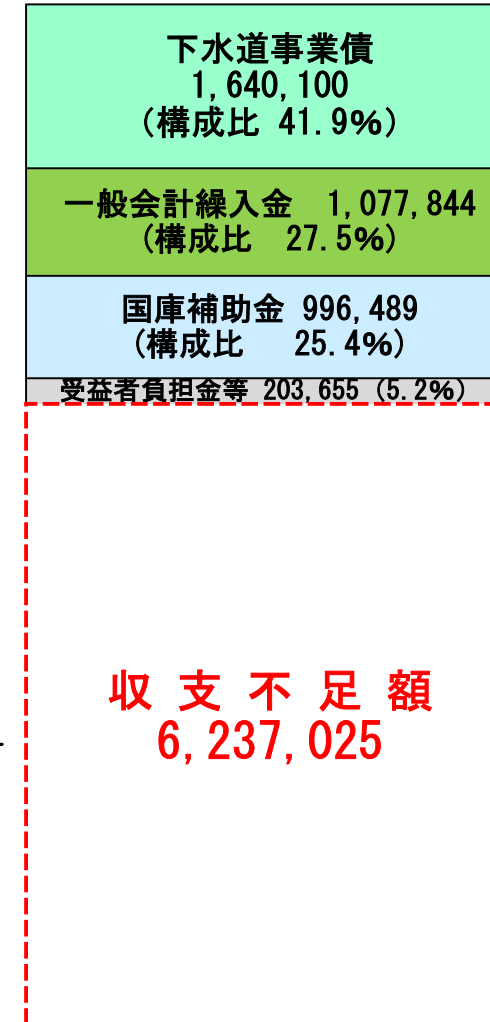
純利益等の処分 (案)
 平成30年9月議会に提出予定

① 当期純利益
 ・ 減債積立金 2,602,067

② その他未処分利益剰余金変動額
 ・ 資本金への組入れ 2,370,807
 ※減債積立金の使用により未処分利益剰余金に計上したもの

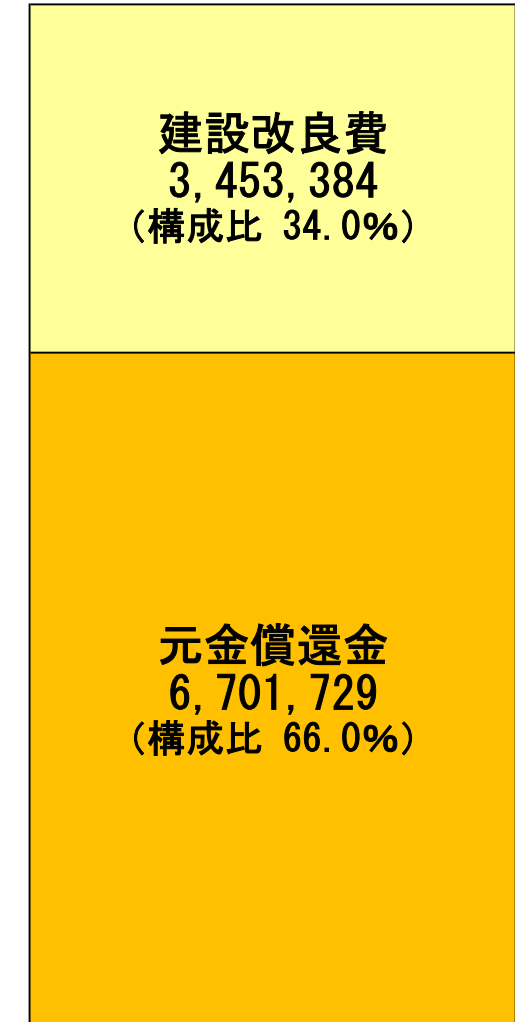
資本的収入及び支出 (税込み)

収入 3,918,088



収支不足額 6,237,025

支出 10,155,113



補填後の内部留保資金残額 3,273,108

損益勘定留保資金の内訳

過年度分	0
現年度分	3,273,108